



■ 実施概要

- 講師 JICA 洲崎毅浩
- 実施日 2014年5月1日
- 参加生徒: Eクラス、希望者
- 内容 ①世界で日本が果たすべき役割
②直面している課題解決に必要な人材
③グローバル人材としての能力とは

■ 世界で日本が果たすべき役割

- 世界平和の前提となる「諸外国との協和」を推進。
- 人々の自由の前提となる「民主主義」を拡大。
- 戦争を抑止するための「対立の緩和、武力によらない紛争予防」を展開。
- 「国益」よりも「地球益」が大切。

■ 直面している課題解決に必要な人材

- 国境を越えた視点を持ち、課題解決に貢献できる人材。
- 様々な分野で活躍し、日本の存在感を高める。
- 厳しい世界経済の中で、日本企業等の成長を牽引する。
- 国境を越えた視点を持ち、様々な課題解決に貢献する。

■ グローバル人材としての能力とは

◎外国人との「意思疎通能力」は必須、ただ、それが「高い英語力」とは限らない。

◎JICA が職員に求める3つの能力

- 現場力: 適応力、柔軟性、健康、技術力など
- 構想力: 自発性、目的意識、計画性など
- 発信力: 積極性、情熱、語学力など

◎資格や制度によって獲得できる「技術力」に劣らず「人間性・品性」が大切

■ 生徒感想まとめ :

グローバル人材としての能力とは

日本の役割は、他国の状況に配慮しながら民主主義を拡大し、被爆国として率先し平和維持に努めなければと思った。グローバル社会に必要な人材は英語ができるというだけでなく、視野が広く援助をしたいという意識の強い人、そして柔軟な対抗ができる人が必要だと思う。

The role of Japan is to spread democracy, while respecting the situations of the other countries. Japan should take the initiative in promoting peace, as a country that suffered the world's first atomic bombing. People who are needed for globalization should have a good command of English, but also such people should have a broad perspective and a strong sense of helping others.

